

株式会社ブロードバンドセキュリティ
2020年6月期 通期決算説明資料



2020年8月13日

2020年6月期 通期 業績サマリー

当期のトピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2020年6月期 通期 業績サマリー



当期のトピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

脆弱性診断の旺盛な需要、診断と絡めた対策支援案件の増により増収 労務費および人件費増を吸収し大幅増益

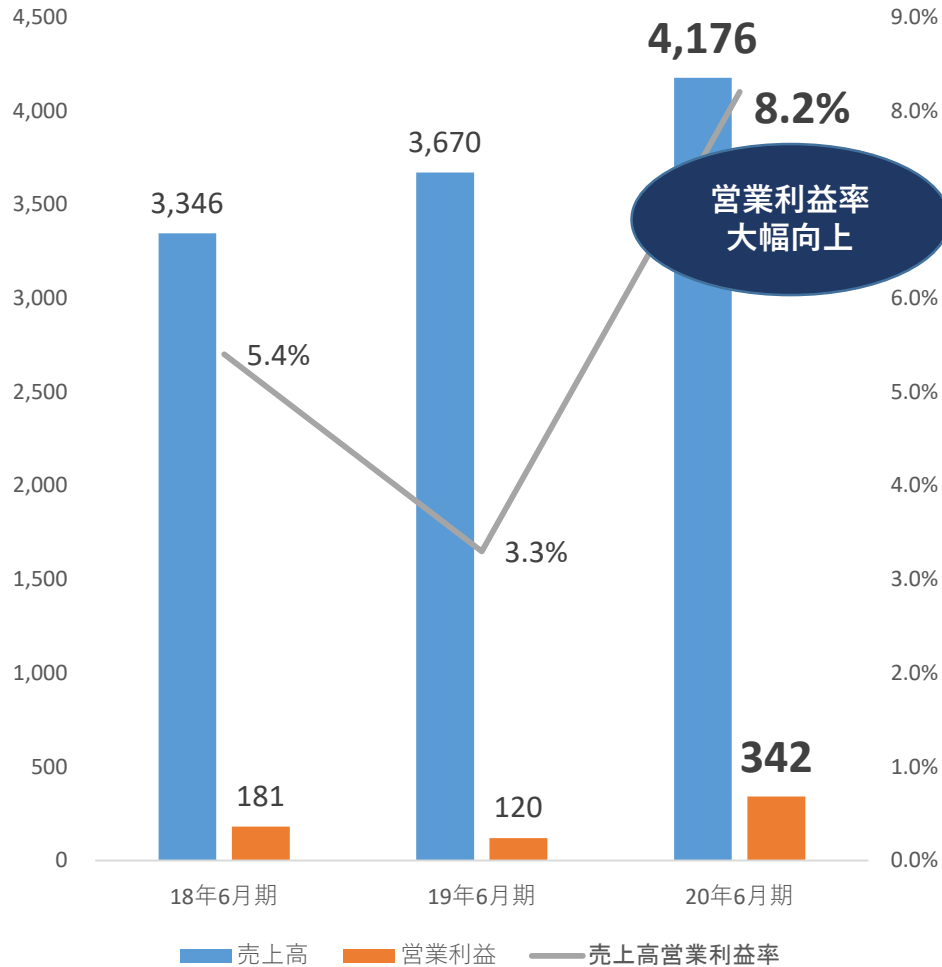
単位：百万円

科目	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 通期実績	前年同期比		科目別増減ポイント
			差異	増減率	
売上高	3,670	4,176	505	+13.8%	
セキュリティ監査・コンサル	726	681	△ 45	△6.3%	重要インフラ事業者、官公庁は好調、韓国一部監査が後ろ倒し
脆弱性診断	1,096	1,402	305	+27.9%	全クォーターで過去最高、特に3Qに大型案件寄与
情報漏えいIT対策	1,847	2,092	244	+13.3%	期初から継続系案件による積み上げ好調
売上原価	2,823	2,947	124	+4.4%	労務費+142だが、基盤投資が一段落
販売費及び一般管理費	727	886	159	+22.0%	人件費+94、監査等顧問報酬増、テレワーク利用者向け広告費増
営業利益	120	342	221	+183.2%	
売上高営業利益率	3.3%	8.2%	+4.9p	-	
経常利益	73	314	241	+330.1%	前期のIPO関連費用減少等
売上高経常利益率	2.0%	7.5%	+5.5p	-	
当期純利益	59	218	158	+264.2%	投資有価証券減損、固定資産除却

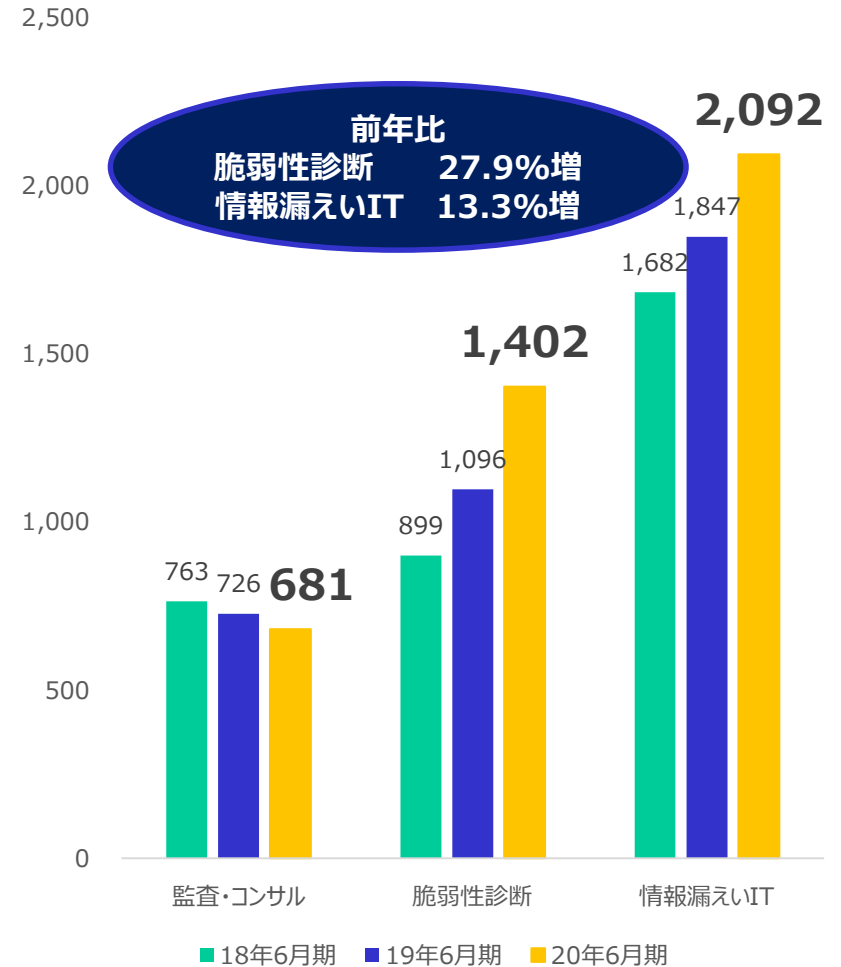
売上高および営業利益は順調に推移

単位：百万円

売上高および営業利益率推移



サービス区分別売上高推移

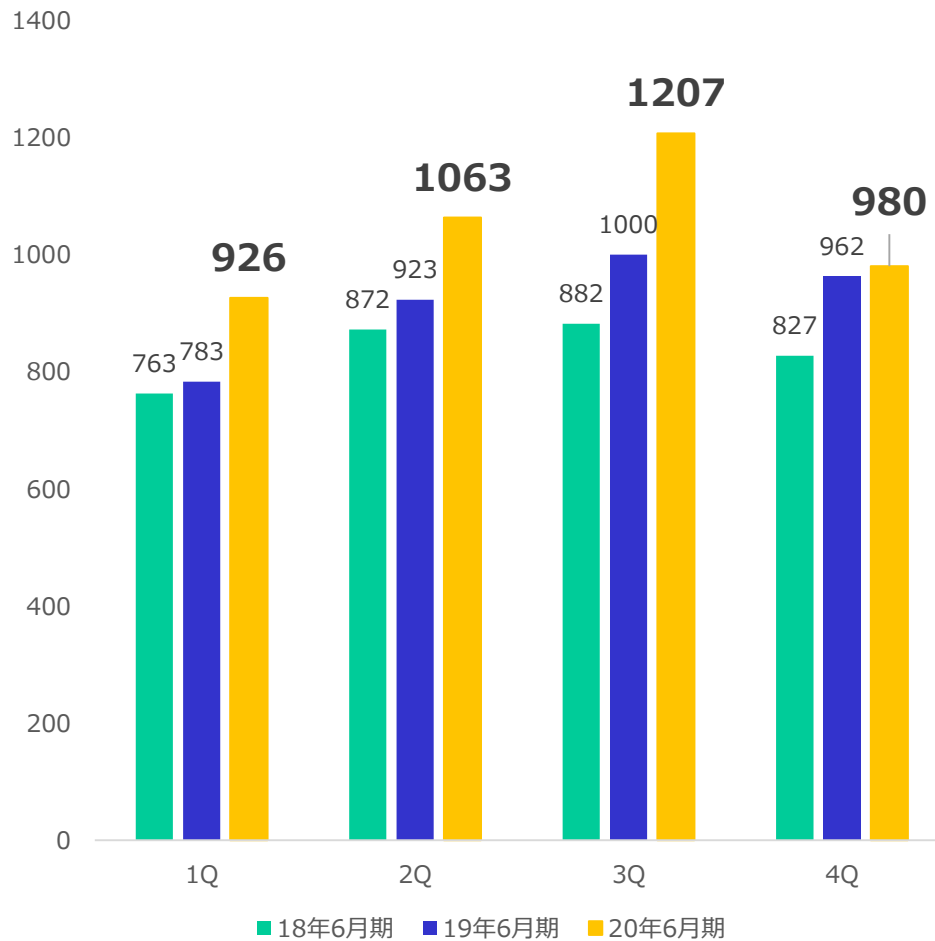


※2018年6月期1Qおよび同2Qは監査法人の四半期レビューの対象外です。

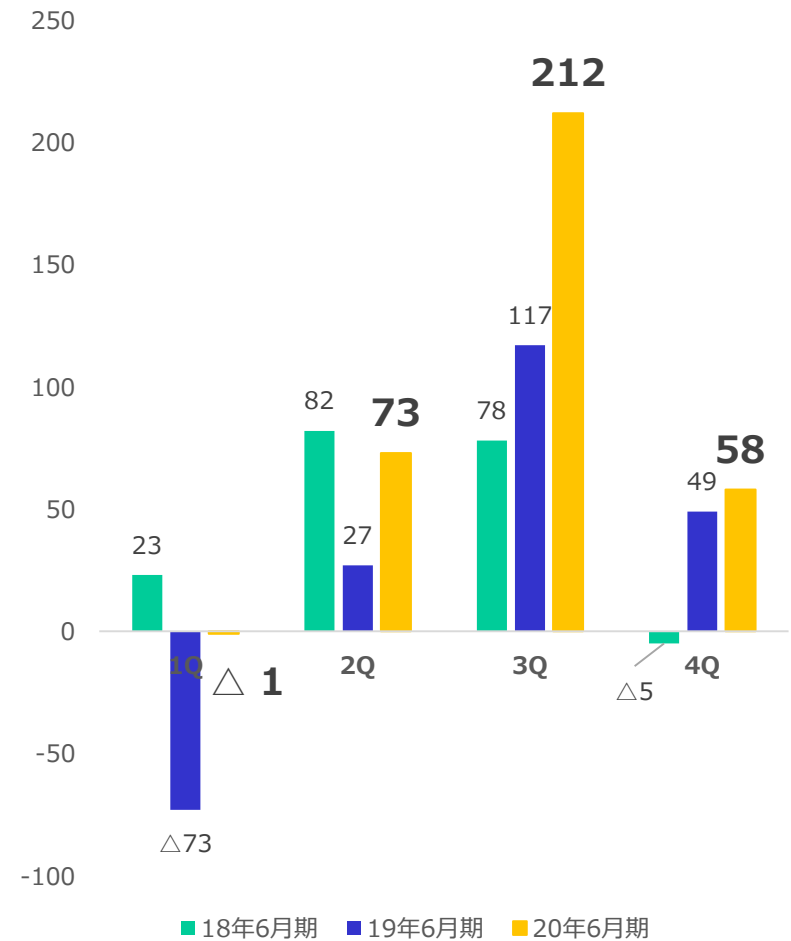
売上高・営業利益とも、全四半期で前年越え

単位：百万円

売上高推移 (QonQ)

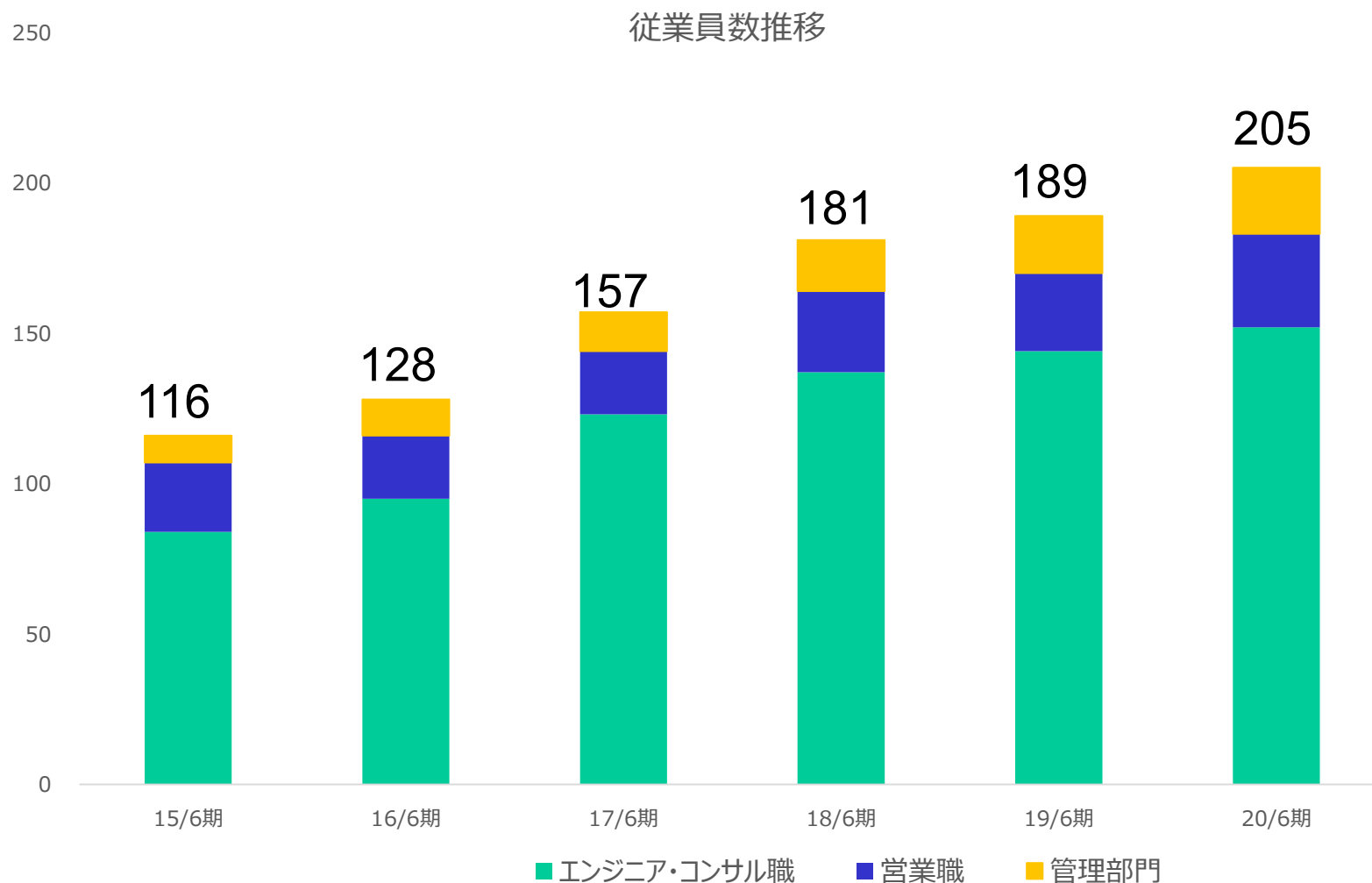


営業利益推移 (QonQ)



※2018年6月期1Qおよび同2Qは監査法人の四半期レビューの対象外です。

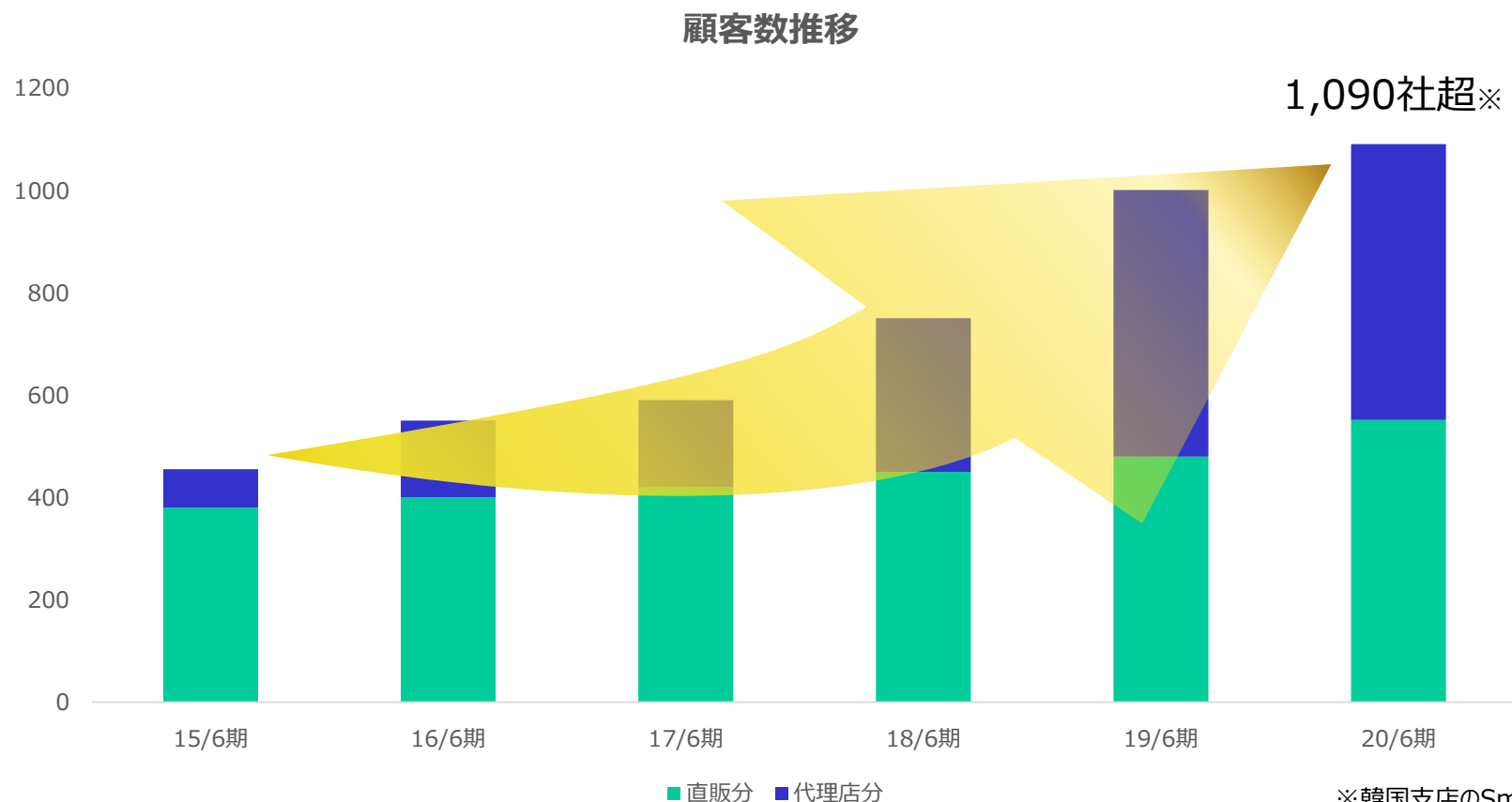
エンジニア・コンサル職を中心に、人材確保が進む



※単位：人 有価証券報告書ベース

顧客数が1090社を突破

2020年6月期に取引があった顧客数は1090社を突破
直販/代理店比率はほぼ均等

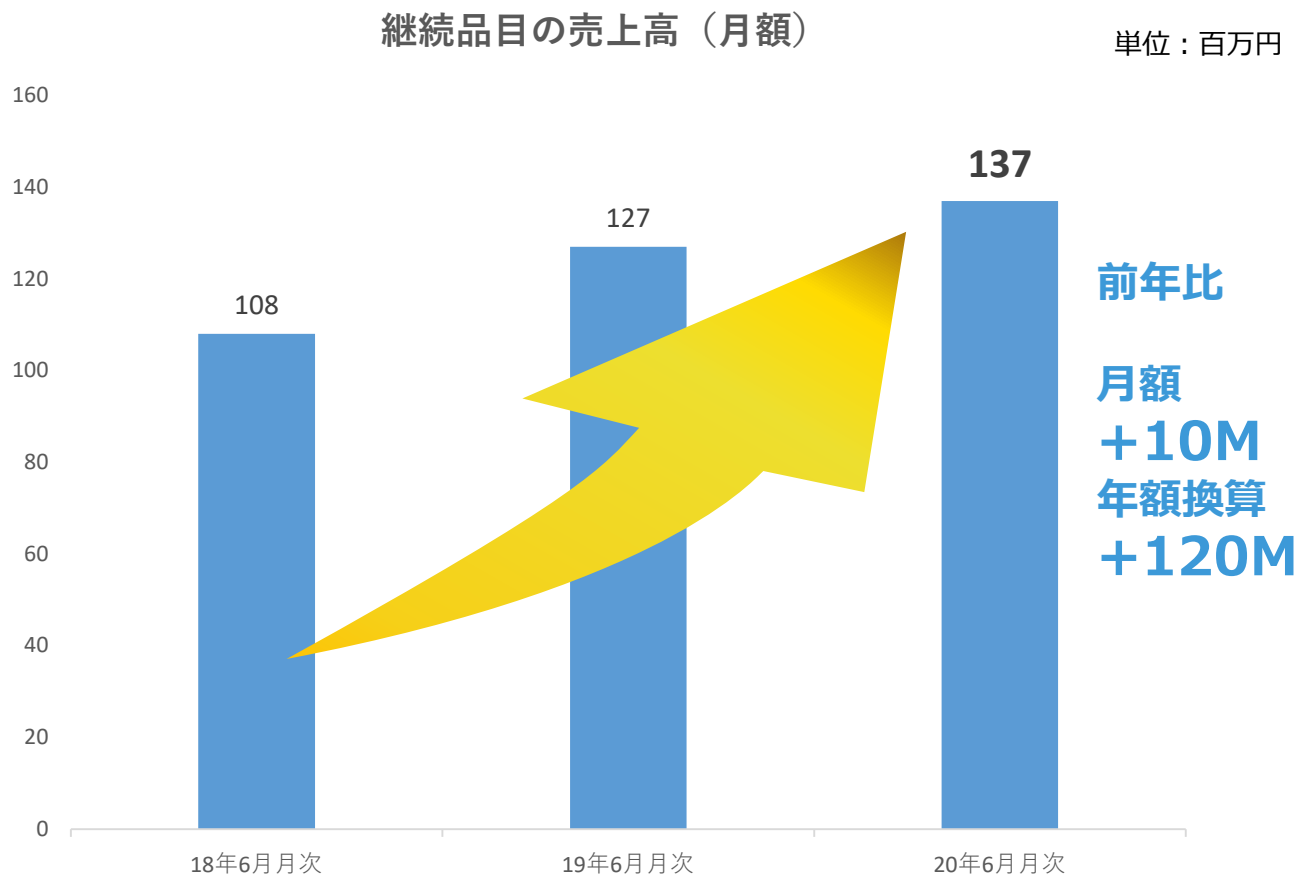


1,090社超※

※韓国支店のSmartSAQ顧客
(オンラインサインアップ分)を除く数

継続品目の積み上げが、今後の売上に寄与

情報漏えいIT対策サービスにおける、継続（年間契約）品目の売上高が
前年比**10M円/月増**、2021年6月期の安定的な売上**120M円/年**として寄与予定



貸借対照表サマリー

利益剰余金増により純資産増
自己資本比率も増加し、安定した財務基盤を維持

単位：百万円

科目	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	前期末比	科目別増減ポイント
流動資産	932	1,507	1,553	103.1%	
うち現預金	306	706	829	117.3%	純利益増
固定資産	713	1,051	1,148	109.3%	サービス基盤のリース資産増
資産合計	1,646	2,558	2,702	105.6%	
流動負債	832	1,108	1,171	105.6%	短期借入増
固定負債	419	631	611	96.9%	長期借入減
負債合計	1,252	1,739	1,782	102.5%	
純資産合計	393	818	920	112.4%	
(自己資本比率)	23.9%	32.0%	34.0%	+ 2.0p	

キャッシュフロー計算書サマリー

純利益増により営業活動によるキャッシュフローが増加

単位：百万円

科目	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	前期差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	414	327	747	420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 197	△ 223	△ 398	△ 174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 178	298	△ 225	△ 524
現金及び現金同等物の増減額	38	400	122	△ 278
現金及び現金同等物の期首残高	267	306	706	400
現金及び現金同等物の期末残高	306	706	829	122

株主還元施策

1) 自己株式取得の実施

目的：機動的な資本政策の遂行及び資本効率の向上

内容：

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 取得した株式の種類 | 当社普通株式 |
| 2. 取得した株式の総数 | 108,300株 |
| 3. 株式の取得価額の総額 | 121,311,500円 |
| 4. 取得期間 | 2020年3月18日～2020年5月13日 |

2) 配当予想の修正（初配）※

理由：業績が順調に推移し、成長に向けた経営基盤、財務基盤が強化されたため

内容：年間配当金として、10円00銭

※本件は、2020年9月17日開催予定の当社第22期定時株主総会に付議予定。

新しいビジネス様式への対応

1) 2019年7月（コロナ以前）より、全従業員の1日あたりの就業時間を1時間短縮

2019年6月まで 標準就業時間 9:30~18:00 （うち休憩時間1時間）

2019年7月より 標準就業時間 9:30~17:00 （うち休憩時間1時間）

2) 2020年2月より、順次リモートワークを実施

2020年8月時点で、全部門が原則リモートワークで勤務

3) Web会議等のクラウドサービス利用、デジタルマーケティング等を推進

4) 今後、オフィスの在り方についても検討

経営体制の強化

代表取締役2名体制（社長を廃止し、CEO、COOを設置）

代表取締役
CEO

事業領域の拡大を中心とした中長期的戦略を推進

代表取締役
COO

3つの事業ユニットによる収益の拡大、提供サービスの充実
将来に向けた人材の確保・育成

新経営体制

氏名	新役職名
持塚 朗	代表取締役 最高経営責任者(CEO)
滝澤 貴志	代表取締役 最高執行責任者(COO)（管理本部管掌）
田仲 克己	常務取締役（診断ビジネス・IRビジネス管掌）
岡田 俊弘	取締役（情報漏洩IT対策ビジネス・監査コンサル営業管掌）
雲野 康成	取締役（海外ビジネス推進本部 本部長・韓国支店管掌）
宮崎 仁	取締役 営業推進本部 本部長
紫藤 貴文	取締役（監査・コンサルビジネス・システム化推進管掌）
田中 喜一	社外取締役
松浦 守男	常勤監査役
平田 裕司	監査役
福山 将史	社外監査役
升永 英俊	社外監査役

本内定人事は、2020年9月17日開催予定の当社第22期定時株主総会及び取締役会の決議により、正式に決定される予定。

2021年6月期予想における前提

現時点において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大について今後広がり方や収束時期等についての統一的理解等がないためその影響を見通すことは極めて困難な状況にあります。

そのため、現時点において入手可能な情報からのみの試算としており今後の感染拡大状況によっては、その影響が判明した時点で本予想を見直す可能性があります。

2021年6月期予想

1. 売上高増加率は前期（+13.8%）より保守的に計画（+9.7%）
2. 全ての売上区分において増収を計画
3. 一人当たり営業利益の向上を目指し、売上高営業利益率10%への最終ステップへ

単位：百万円

科目	2020年6月期 通期実績	2021年6月期 通期予想	前年同期比	
			差異	増減率
売上高	4,176	4,580	404	+9.7%
セキュリティ監査・コンサル	681	810	129	+18.9%
脆弱性診断	1,402	1,575	173	+12.3%
情報漏えいIT対策	2,092	2,195	103	+4.9%
売上原価	2,947	3,171	224	+7.6%
販売費及び一般管理費	886	1,008	122	+13.8%
営業利益	342	400	58	+16.9%
売上高営業利益率	8.2%	8.7%		
経常利益	314	381	67	+21.3%
売上高経常利益率	7.5%	8.3%		
当期純利益	218	296	78	+35.7%

2020年6月期 通期 業績サマリー

当期のトピックスのご紹介

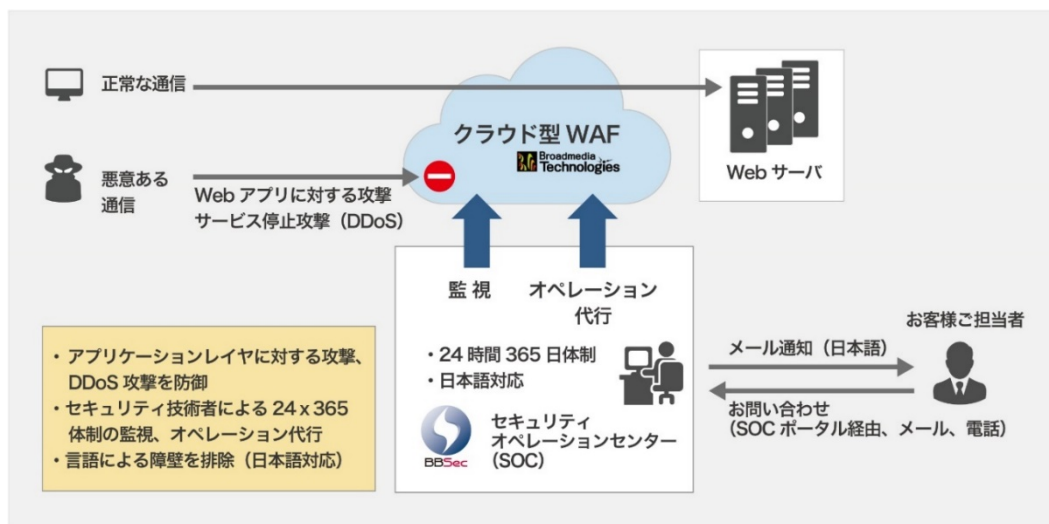


株式会社ブロードバンドセキュリティについて

当期のトピックスのご紹介

2019/6

ブロードメディア・テクノロジーズと
クラウド型WAF/DDoS対策サービス向けに、
24/365体制の「Managed Security
Service」の提供を開始



2019/8

JSOLとパブリッククラウド & セキュリティで協業
国内SOC(セキュリティーオペレーションセンター)
の拡大および、
CSIRT構築、運用からお客さまICTご利用のト
ータルコーディネーションを実施。
セキュリティーレベル向上のための複合サービ
スの提供



当期のトピックスのご紹介

2019/10

システム開発の上流工程におけるセキュリティ対策を支援する

「Shift Leftコンサルティングサービス」で、根本的なセキュリティ強化によるアプリケーション開発改革を！



2019/10

地銀・信金・信組向けのセキュリティ対策サービスを強化

金融機関向け各種サービスをワンストップでご提供

・セキュリティコンサルティングサービス

FISCガイドライン第三者評価(簡易評価)

・情報漏えいIT対策サービス

インターネット分離（無害化より更に進めた分離）

・脆弱性診断サービス

PCI DSS監査での金融機関向けの豊富な知見を基にした一歩進んだ脆弱性診断

当期のトピックスのご紹介

2020/1

タイにおける合併会社設立

タイで情報セキュリティに関するトレーニングやコンサルティングを行っている「**Wisdom Center**」と合併会社を設立、正式に営業を開始

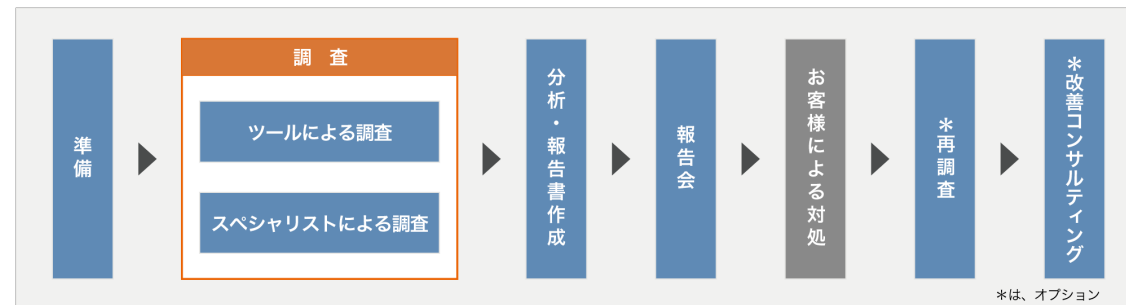
アジアNo.1のセキュリティプロバイダを目指す



2020/2

「無線LAN調査サービス」を開始

「盗聴」「なりすまし」「不正アクセスによる情報漏えい」などのセキュリティリスクを生み出す無線LANのリスクを検証



当期のトピックスのご紹介

2020/4 「テレワークにおける情報セキュリティ上の 考慮事項」資料公開

<https://www.bbsec.co.jp/report/telework/>

個人端末利用

1. 個人所有の端末で自宅の接続環境から業務せざるをえない場合の代替措置

会社の管理物以外のUSBメモリ等、電子媒体使用禁止

- 個人所有のUSBメモリなどを絶対に使用しない
- USBメモリが必要な場合は会社に許可されたものに限定する

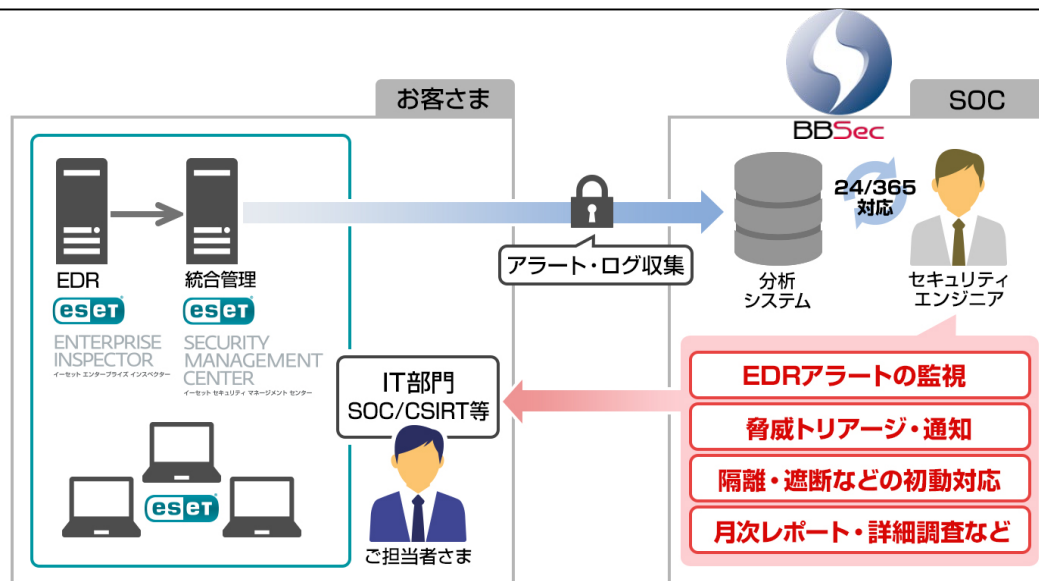
原則的に端末にはデータを保管しない

- 業務データは、会社が指定したファイル共有サービスへ保存する
- 業務のために一時的に端末に保存することはやむをえないが、業務が完了すれば、所定の共有/個人フォルダに戻し、端末上から削除する

端末は業務にのみ使用すること

2020/4 キャノンMJの「EDR運用監視サービス」に 当社マネージドセキュリティサービス採用

「ESET Enterprise Incceptor」向けの
EDR運用監視サービスを5月8日より開始



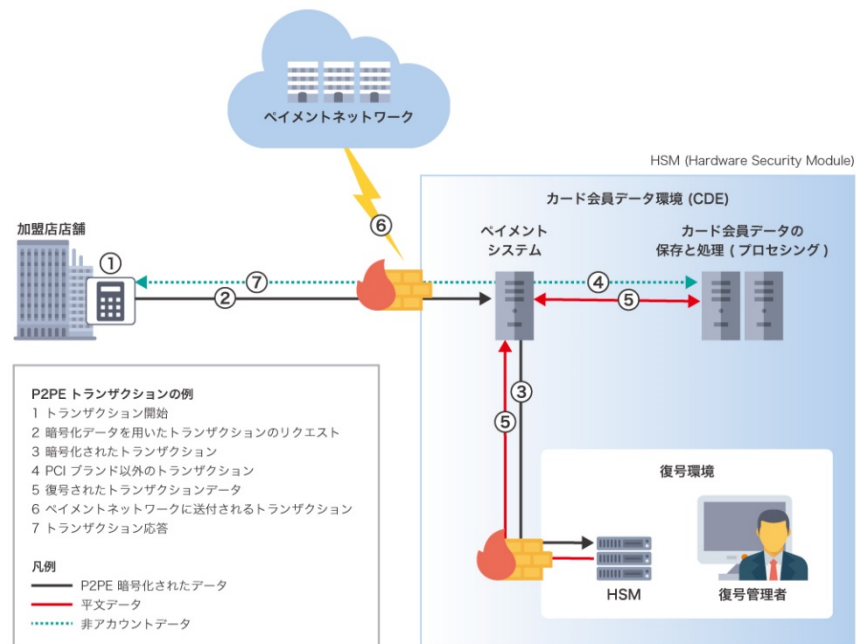
当期のトピックスのご紹介

2020/6

NECのP2PEソリューション準拠支援と監査を実施

全国の小売業等の対面決済ソリューションをより安全に

P2PE ソリューションの概要

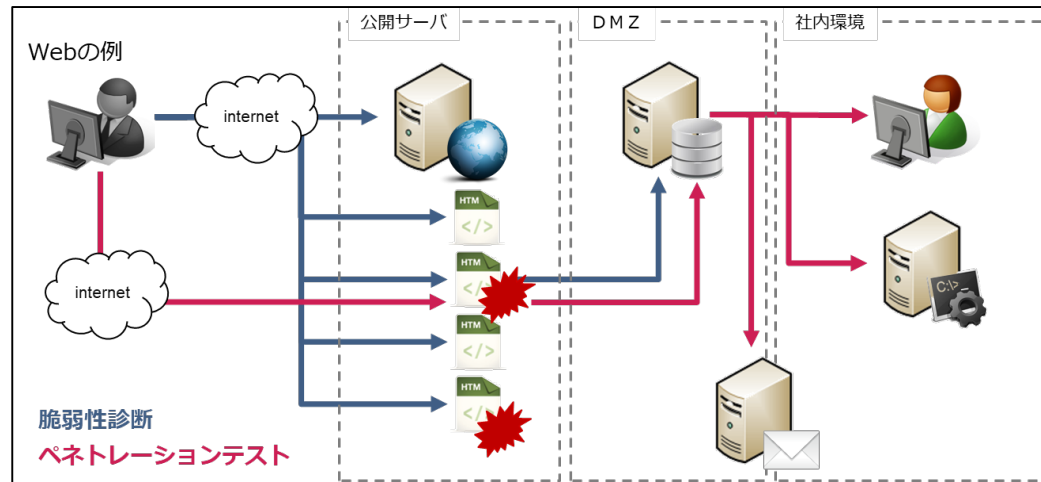


2020/7

「SQAT®ペネトレーションテスト※」の提供開始

多様なシナリオによる疑似攻撃でシステムを包括的に診断し、被害を最小化

※事前の綿密な調査により特定した「システムのより弱い個所」を起点としてシナリオベースの疑似攻撃を仕掛け、システムの堅牢性を確認する検査。

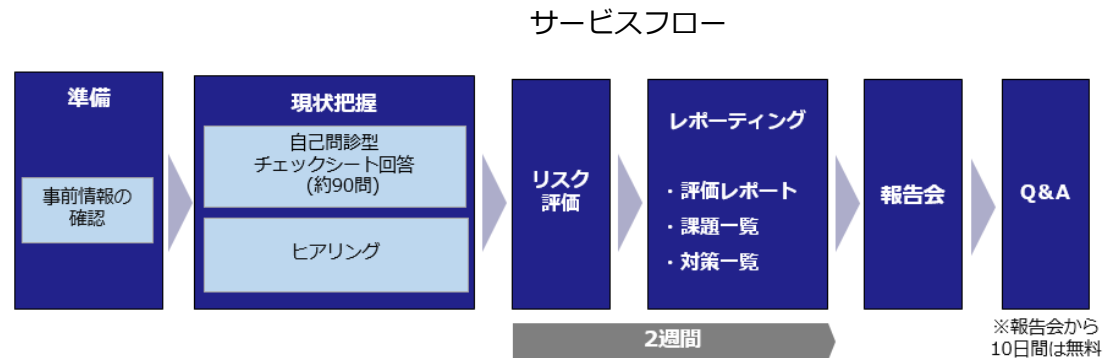


当期のトピックスのご紹介

2020/7

「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」 の提供を開始

テレワークに特化した迅速なアセスメントで
新しいビジネス様式に対応

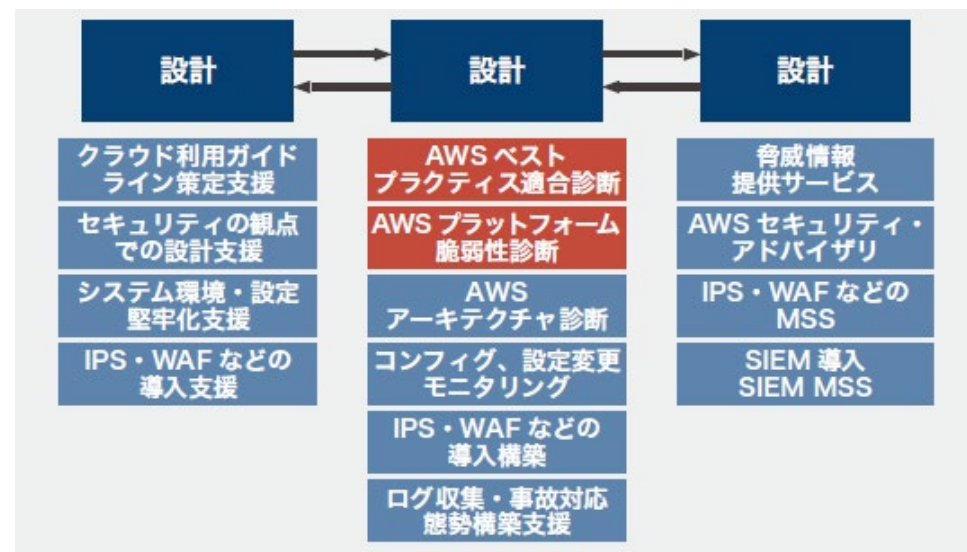


2020/7

「クラウドセキュリティ設定診断サービス」 の提供を開始

従来提供していたAmazon Web Services向けのセキュリティ設定診断サービスに、Microsoft Azure、Google Cloud Platformを加える。

独自のチェック項目で、マルチクラウド環境をカバー



2020年6月期 通期 業績サマリー

当期のトピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて



会社概要

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

設立

2000年11月30日

資本金

2.8億円

決算期

6月

株式公開情報

市場 東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場
上場日 2018年9月26日
証券コード 4398

従業員数

205名

代表者

代表取締役社長 持塚 朗

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
海外：韓国支店
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

(2020年6月末現在)

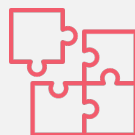
ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する、セキュリティサービスプロバイダー



常にお客様に
寄り添い
現状の可視化から
日々の運用までの
ライフサイクルを
トータルに支援

セキュリティ対策の
現状調査・可視化
企画・検討



セキュリティ監査・
コンサルティングサービス

- セキュリティ・アドバイザー
- リスクアセスメント
- ウィルス感染チェック
- CSIRT 構築 / 運用支援
- セキュリティログ分析 / 活用支援
- PCI DSS準拠支援 / オンサイト評価
- 標的型攻撃メール訓練 他

脆弱性診断サービス

- WEB アプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- データベース診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- パブリッククラウド向け脆弱性診断
- ソフトウェア品質自動分析診断
- WEB サイトコンテンツ改ざん検知 他

セキュリティ対策の
導入・運用



情報漏洩
IT対策サービス

- セキュアメール
- マネージドセキュリティ
- モダンマルウェア検知
- インターネット分離クラウド
- SIEM 運用 / 分析
- Splunk 自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ運用支援 他

※1 PCI DSS Payment Card Industry Data Security Standard ※2 CSIRT Computer Security Incident Response Team
※3 SIEM Security Information and Event Management

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

ニュートラル



最適な改善策を提示するために
欠かせないベンダーニュートラル性

技術対応力



経験、知識、情報網を核とした
最先端の技術対応力

信頼性



高いリピート率が示す高信頼性

ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに
お応えする柔軟な体制

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

お問い合わせ ir@bbsec.co.jp

<https://www.bbsec.co.jp/ir/>